

# 白羽小学校 6 年生 海洋教育授業

平成 28 年 09 月 28 日

- 日 付：平成 28 年 9 月 28 日（水）
- 時 間：8：30～11：40
- 場 所：御前崎マリンパーク
- 参加者：白羽小学校 6 年生（児童 51 名、教員 3 名 計 54 名）
- スタッフ：石原、植田、奥柿、高塚、川口

今年度初めての試みとなる、学校との連携授業が開催されました。この取り組みは、『御前崎の子ども達が、地元の海や自然の素晴らしさを体感し、愛着・親しみを持ってもらいたい。』という想い、目的の基、実現しました。

当初、9 月 13 日(火)に予定していた本授業でしたが、台風 16 号の接近に伴い、不安定な天気の為延期となりました。

実施日となる当日も、天気の行方が心配される中でしたが、第二回目となる海洋教育事業が無事に行うことができました。



第二回目となる今回は、白羽小学校に通う 6 年生の児童 51 名が『御前崎の海を楽しむ』と言うテーマの基、御前崎マリンパークに集合し、授業が開始されました。



まずは、これから活動を行う海岸のビーチクリーンを行いました。

御前崎マリンパークには、一度の台風接近で多くのゴミや流木などが漂着されます。この日も、台風 16 号・17 号の影響で流れてきたゴミや流木が、多く漂着していました。ペットボトルや空き缶、切れて流された漁具、様々なプラスチック製品など、多くの漂着ゴミを拾うことが出来ました。



わずか 10 分程度と言う短い時間の中でしたが、沢山のゴミを拾うことが出来ました。ビーチクリーン後は、渚の交番スタッフによる、集まったゴミについての簡単な説明を行いました。胡桃や竹など陸の自然物やゴミの漂着について、砂の流入についてなど、御前崎マリパークが抱える課題を、子ども達と一緒に考えました。



その後は、待ちに待った海洋体験。しっかりと準備体操をした後、陸での練習を行いました。今回は、小学校生活最後となる海洋体験と言うこともあり、楽しい思い出づくりをし、仲間と協力して漕ぎ進めるビックスアップを行いました。各クラス3チームに分かれ、ビックスアップに挑戦します。ビックスアップには、約8名の子ども達と1名の指導者が乗り込み、活動を行いました。



陸上での練習を終えた後は、実際に海に出て漕いでみます。掛け声に合わせて、みんなで協力します。時には、担任の先生も一緒にビックスアップを楽しみました。

ただ今回は、楽しい海洋体験だけでなく、チームとしての団結力や最後まで諦めない心を育むことを目的としたチーム対抗のレースも行います。



空いた時間を活用して、漕ぐ練習をしたり、作戦会議を行う子ども達。みんな真剣です。



もちろん、海を楽しむことも忘れていません。海に浮いたり、ボディサーフィンをしたりと、思い思いに海も楽しみました。



休憩を取った後は、いよいよレース本番。子ども達は、みんな真剣な表情で海に漕ぎ出しました。そして、仲間を応援する子ども達も真剣。大きな声を出して、声援を送ります。



練習の成果もあり、子ども達は力強い漕ぎを見せてくれました。そして、どのチームもハラハラドキドキの僅差のレースを見せてくれました。見ていた先生や渚の交番スタッフも、大興奮でした。勝ち負けだけでなく、子ども達の仲間を思いやる気持ち、団結力を強く感じる事が出来ました。



最後は、お楽しみゲームを行いました。当初の予定では、スイカ割りを行う予定でしたが、スイカのシーズンは終了。大きな水風船を代わりに使い、ゲームを開始しました。夏の風物詩ともいえるスイカ割りですが、仲間を信じる心が重要になります。仲間の言葉を信じ、歩みを進め、水風船目掛けて、棒を振り下ろしました。



午前中の活動は、あっという間に終了となりました。本日の活動の最後には、(一社)スマイルプロジェクトの代表 石原による、御前崎の海の現状について話を伺いました。そして、『1年を通して、御前崎の海をもっと楽しんでほしい!!』という、メッセージを子ども達に伝えさせていただきました。

今年度の白羽小学校の海洋教育授業は、終了となります。今回ご協力を頂いた皆さんにも報告・お礼をお伝えさせていただき、来年度の活動につなげていけるよう取り組みをしていきたいと思えます。